

共和党がバイデンの独裁的ワクチン命令を拒否：「絶対的に違憲だ」

Adan Salazar / Infowars

September 9, 2021

* 「安心してほしい——我々は、あらゆるサウスカロライナ人の自由と生活を守るために、彼らを地獄の入り口にまで追い詰めるつもりだ」と、同州知事は語る。

<https://www.infowars.com/posts/republican-legislators-refuse-bidens-dictatorial-vaccine-edicts-absolutely-us-constitutional/>

米共和党議員が、木曜日、ジョー・バイデンの通告に強く反発し、100人以上の従業員をもつ私企業と、すべての連合政府職員は強制ワクチンを受けよ、拒否者は繰り返し Covid テストを受けよ、という彼の命令に猛反対した。

上院議員ランド・ポール（共、ケンタッキー）は、おそらくバイデン命令の直接の影響を問題にして、それは自然免疫という科学を無視するものだと論じた：——

「自然免疫を無視するワクチン命令は、科学を無視するもので、非科学的だ。それにこだわるのは間違っており、政府によって推進されるべきものではない」と言った。

仲間のケンタッキー上院議員、Thomas Massie もまた、バイデン政府を痛烈に批判し、その勅令は「絶対的な憲法違反」だと難じた。

「この拡大された命令は、100人以上の従業員をもつ雇用主にワクチン接種を要求するか、毎週のウィルス・テストを強制するもので、これは8千万のアメリカ人に影響を与えるものだ。」

Marjorie Taylor Greene 下院議員（共、ジョージア）は、バイデン政権による、ワクチン未接種者の隔離政策は、ナチスのやり方を地で行くもので、それは、彼らがトランプを非難して言うのと同じものではないか、と言った。

「一人ひとりのアメリカ人が目覚めて、民主党の本性を見抜かなければならない」と、グリーンは言い、「彼らは共産主義者なのだ。命を救うのに利用できる、安全な薬や医療があるのだから、ワクチン命令は違法だ」と、主張した。

左派はトランプを、独裁者、ナチ、ヒトラーとさえ呼んでいる。

現在、ジョー・バイデンはアメリカ人を隔離し、連邦政府の権力を振るって、アメリカ人民を強制し、我々の意思に反して我々の体内にウィルスを注射しようとしている。

しかし彼のやり方は、命を救うために、命を救う医薬品を奨めないようにすることである。

前トランプ・ホワイトハウスの戦略主任で、前ノースカロライナ下院議員だった Mark Meadows は、同じような類比によって、バイデンは、「自分の党派的目標を達成するために、憲法を踏みにじろうとする、無法な大統領だ」と言った。

下院議員 Lauren Boebert もまた、「スリーピー・ジョー」の強制戦略は、彼がリーダーとして資格のないことを証明するものだ、とコメントしている：——

9 百万のすべての連邦職員は、彼らの医者に相談して、ワクチンを打つべきかについて、個人的に、情報を得た上で決断すべきである。

スリーピー・ジョー・バイデンは、そういうやり方でなく、「オレに従え、さもないと…」というものだ。

アリゾナの議員 Andy Biggs (共) は、ずばり、バイデンは独裁者のように振舞っていると
言った：——「バイデンよ、忘れてはいけない。あなたはアメリカ大統領であって、決して独裁者ではないのだ。」

ビッグズは更につづけて、権威の乱用を法的に論ずることもできると言った。

Robert Alderholt 議員 (共、アラバマ) も、バイデンは自分の憲法上の権利を濫用している
と
言った：——「これは憲法に反する。アメリカの憲法はこのような権威を、大統領に与えていない。憲法第 2 条のどこにも、このような種類の権力を、ほんのわずかにでも、与えていないことを知るべきだ。」

Mo Brooks 議員 (共、サウスカロライナ) は、どれだけ多くのバイデンへの投票者が、今
になって、自分の決定を悔やんでいることだろうと言った。

「@JoeBiden@POTUS が 1 億のアメリカ人に、ワクチンを打てと命令した！ 選挙が大きく左右される。」

バイデンの命令は、アメリカ人が投票するとき、候補者の政策をよく知り、評価することが、いかに重要かを強調するものである。

木曜日の命令通達るとき、バイデンは、自分は各州の知事たちに呼びかけて、彼の新しい命令の実行を求めるつもりだと言った。

アリゾナ州知事の Doug Ducey (共) は、これに反応し、この命令を非アメリカ的と呼び、彼の州は「これを押し返す義務と意志をもっている」と言った：——

「この独裁的なやり方は間違っており、非アメリカ的で、益をもたらすより、はるかに多く傷をつけるだろう。いかに多くの労働者たちが、居場所をなくするだろうか？ いかに多くの子どもたちが、教室から追い出されるだろうか？ いかに多くの事業が罰金を食らうだろうか？ このワクチンは選択であり、そうあるべきだった。我々はこれに反撃しなければならない。必ずそうする」——Doug Ducey, September 9, 2021.

「これは間違いなく、我々がアリゾナで、食い止めようと懸命に努力してきた、大きな憲法違反の例だ。今、バイデン-ハリス政権は、全く前例のない危険なやり方で、私的な事業と個人の自由を、叩きのめそうとしている」と、デューシーは書いた。「これは全く法的に問題にならないものだ。」

ジョージア州の Brian Kemp 知事 (共) と、サウスカロライナの Henry McMaster 知事 (共) は、共に、この連邦政府の暴政的な違反行為に、挑戦すると誓った：——「私は、ジョージア州に可能な、あらゆる法的手段を用いて、バイデン政権による、このあまりにも明らかな、不法な越権と戦うつもりだ」——ブライアン・P・ケンプ知事、September 9, 2021

「アメリカン・ドリームが、バイデン大統領とその過激な民主党の下で、悪夢に変わった」と、マクマスター知事は書いた。「彼らは資本主義に対して宣戦を布告し、憲法を愚弄し、我々の海外の敵に力を与えている。」

「安心してほしい——我々は、あらゆるノースカロライナ人の自由と生活を守るために、地獄の入り口にまで彼らを追い詰めるつもりだ。」

滅ぼされてなるものかと、テキサスの Greg Abbott 知事は声明を出し、すでに、テキサス人の「Covid ワクチンを受けるか否かの選択の権利」を守る、知事命令を発令していた。

バイデンのワクチン命令は、個人的事業への攻撃である：——「私は知事命令を発令し、テキサス人のワクチン選択権を保護し、それを特別セッション計画に加えた。」

テキサス州はすでに、この権力の停止を実行している：——「テキサスはすでに、この権力把握を停止している」と、アボットは宣告した。——September 9, 2021

共和党のサウスダコタ知事 Kristi Noem は、潜在的に、連邦訴訟が可能なことを仄めかした：——「サウスダコタは、自由の擁護のために立ち上がるつもりだ。バイデンよ、法廷で会おう。」

また、オクラホマ知事の Kevin Stitt (共) は、はっきりと通告した：——「私が知事である限り、オクラホマに、政府のワクチン命令は絶対に許さない。」

どうやらバイデン政権は、完全に法的対決に、直面させられているようだ。

[訳者 Greatchain]

何の説明もせず、考えもさせず、ワクチン接種さえすれば、すべてがうまくいくかのように振舞った日本政府に申し上げたい。バイデン政権による、ワクチン強制政策の究極の目標は、ここで「独裁」と言っている暴挙にあった。それは決して、人民の健康や安全を願う「人道的な」ものではなかった。

確かに、ここに述べられたアメリカでの、バイデンへの激し反発の声は、すべて共和党のものである。では、民主党では、皆がバイデン政府を支持していて、これは我々人民を気遣う思慮深いワクチン強制政策だとして、歓迎しているのだろうか？ それはありえない。そう考えるのは「人民」の反対側にいる、ごくわずかの「悪」の一味だけである。それはここに歴然と現れている。

アメリカ人民と日本国民は繋がっている。アメリカ人は激怒しているが、日本人は何のことかわからずに、ぼんやりしている、というようなことがあってはならない。我々は目覚めなければならない。